

新型コロナウイルス感染症 大阪モデル モニタリング指標の状況

資料 1 - 2

【モニタリング指標ごとの状況】

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する警戒・非常事態解除の基準	7/12	7/28	7/31	8/19	8/30	
					21回会議	22回会議	23回会議	24回会議		
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	2.16	1.99	1.79	0.83	0.70	8/9以降、1を下回る水準で推移
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	10人未満	13.29	82.14	109.43	85.29	55.29	8/4をピークに減少傾向だが、未だ高水準で推移
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	65.6%	67.1%	67.6%	56.1%	56.5%	50%以上で推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数 うち後半3日間	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	142	889	1,142	1,110	650	8/10をピークに減少傾向だが、未だ高水準で推移
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数		—	0.5人未満	1.61	10.08	12.94	12.58	7.37	
	【参考②】確定診断検査における陽性率の7日間移動平均	—	—	—	3.6%	9.8%	9.9%	7.6%	5.2%	8/10をピークに減少傾向
(3) 病床等の逼迫状況	⑤患者受入重症病床使用率	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	60%未満	2.7%	6.9%	10.1%	31.9%	32.4%	8/14以降、30%以上で推移
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	9.0%	24.1%	25.7%	47.9%	42.0%	8/2以降、30%以上で推移
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	9.5%	32.7%	28.4%	17.3%	10.6%	8/4をピークに減少傾向
各指標を全て満たした場合における信号		黄	赤	緑 (ただし、一定期間経過後消灯)	黄	黄	黄	黄	黄	

・参考②の確定診断検査における陽性率は、再陽性患者数を除外して算出

【大阪府の取組状況】

7/12 「大阪モデル」黄色信号点灯
20代を中心とする府民への注意喚起

7/28 5人以上の宴会等自粛要請など（8/1～）

7/31 ミナミ地区の一部への施設休業等の要請（8/6～20）

8/19 高齢者施設などへの注意喚起（8/21～）

「大阪モデル」のライトアップについて

① 現状

- 「大阪モデル」の達成状況を「大阪府新型コロナ警戒信号」として府のホームページ上で表示。
- 民間の事業者等の皆さまにも、信号の色に合わせたライトアップのご協力をいただいている。

【ライトアップ協力施設・事業者等】（大阪府に連絡があった事業者のみ、令和2年8月7日時点）

- ・ アクロスプラザ八尾（八尾市）／大和情報サービス株式会社
- ・ 泉大津市庁舎（泉大津市）
- ・ 梅田阪急ビル（大阪市）／阪急電鉄株式会社・阪急阪神不動産株式会社
- ・ 戎橋（大阪市）／南海電気鉄道株式会社
- ・ 大阪・梅田「大ぴちゃんくん」（大阪市）／ダイキン工業株式会社
- ・ 岸和田城（岸和田市）
- ・ 旧堺燈台（堺市）
- ・ 新大阪駅前・新大阪屋外看板（大阪市）／ダイキン工業株式会社
- ・ 通天閣（大阪市）／通天閣観光株式会社・株式会社日立製作所

② 今後の方針

- 民間の事業者等に対しては、信号が変わったあと **2週間**、府民への感染状況の周知・共有のため、ライトアップの協力を求める。

⇒ **現在協力いただいているライトアップは、8月31日で、一旦消灯**

※ 府のホームページの信号は、継続して表示

